

もも・ネクタリン特報

【定期散布】

・隣接する園地や収穫中の作物に飛散しないよう十分注意しましょう。

もも

散布時期：前回散布から15日後（7月19日～25日頃）
＊早生種（白鳳・あかつき等）で除袋間近な場合は、除袋後に散布を実施する。

散布薬剤：	水	100ℓ	散布日	7月	日
	展着剤	20ml	散布量		ℓ
	オンリーワンフロアブル	50ml（前日、3回）			
	ディアナWDG	10g（前日、2回）			
対象病害虫：灰星病、ホモプシス腐敗病、黒星病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、（アザミウマ類）					
10a 当り散布量：600ℓ					

ネクタリン

散布時期：前回散布から15日後（7月19日～25日頃）

散布薬剤：	水	100ℓ	散布日	7月	日
	展着剤	20ml	散布量		ℓ
	オンリーワンフロアブル	50ml（前日、3回）			
	ディアナWDG	10g（前日、2回）			
対象病害虫：灰星病、ホモプシス腐敗病、黒星病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、（アザミウマ類）					
10a 当り散布量：600ℓ					

【注意事項】 もも・ネクタリン共通

- ①せん孔細菌病の発生園は、スターナ水和剤の1,000倍（7日前、3回）を加用する。
＊ただし、収穫前規制に注意する。（収穫7日前まで散布可能）
- ②シンクイムシ類、アブラムシ類の発生が心配される場合は、ディアナWDGに代えて、劇バリアード顆粒水和剤2,000倍（もも：前日、3回 ネクタリン：3日前、2回）を使用する。

熟度優先の収穫を心掛けましょう。

成熟は昨年より 10 日程度遅れると予想されますが、除袋・反射マルチ・葉摘み等の
管理作業は、早めに進めましょう。

1. H29 収穫始め予想 (7/10 現在)

直前の気象条件により前後します。下表を参考に、果実の状況を見て収穫適期を判断しましょう

品種名	南部地区	平岡地区
白鳳	7 / 3 0 ~	8 / 1 ~
あかつき	8 / 1 ~	8 / 3 ~
なつっこ	8 / 1 1 ~	8 / 1 3 ~

2. 除袋目安

* 上記収穫開始予想を参考に、除袋作業は早めに実施しましょう。(成熟は、昨年比 1 0 日程度の遅れ)

品種	除袋 目安
白鳳	収穫 8~10 日前までに
あかつき	収穫 8~10 日前までに
なつっこ	収穫 8~10 日前までに

3. 果実腐敗防止対策 降雨が続き、灰星病の発生が心配される場合は、殺菌剤を特別散布する。(下表)

灰星病の耐性菌出現を回避するため同一系統の薬剤を連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

	薬剤の系統	薬剤名	使用濃度	適正使用基準	使用上の注意事項
もも	エルゴステロール 生合成阻害剤 (E B I)	スコア顆粒水和剤 アンビルフロアブル オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル	2000倍 1000倍 2000倍 2000倍	収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回)	1. ベルクート剤は、バラ・メロンに薬害を生じるのでかからないようにする。 2. ダコニール 1000、ダコレート水和剤は、除袋直後に散布すると薬害が発生する場合がありますので注意する。
	そ の 他	ロブラール水和剤 ベルクートフロアブル ダコニール 1 0 0 0	1500倍 2000倍 1000倍	収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (6回)	
ネクタリン	エルゴステロール 生合成阻害剤 (E B I)	スコア顆粒水和剤 アンビルフロアブル オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル	2000倍 1000倍 2000倍 2000倍	収穫前日まで (2回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (3回)	1. ベルクート剤は、バラ・メロンに薬害を生じるのでかからないようにする。 2. ダコニール 1000、ダコレート水和剤は、除袋直後に散布すると薬害が発生する場合がありますので注意する。
	そ の 他	ロブラール水和剤 ベルクートフロアブル ダコニール 1 0 0 0	1500倍 2000倍 1000倍	収穫前日まで (3回) 収穫前日まで (2回) 収穫前日まで (2回)	